

第 32 回 長崎都市経営戦略推進会議

平成 26 年 5 月 14 日 (水)

10:00~12:00

長崎商工会議所 2F 特別会議室

議 題 等	資 料
1. 議長挨拶	
2. 議題等	
<協議事項>	
(1) 長崎サミットの日程について	資料 1
(2) 長崎都市経営戦略推進会議の運営等の見直しについて 課題整理、推進体制、運営	資料 2
(3) MICE 事業化サポートの推進方針について	資料 3
(4) その他	
3. 閉会	

<今後のスケジュール>

第 33 回長崎都市経営戦略推進会議

平成 26 年 6 月 10 日 (火) 10:00~12:00

第 34 回長崎都市経営戦略推進会議

平成 26 年 7 月 9 日 (水) 10:00~12:00

第 35 回長崎都市経営戦略推進会議

平成 26 年 7 月 23 日 (水) 10:00~12:00

平成 26.年 5 月 14 日

長崎サミットの日程について

1. 長崎サミットの日程

- ①原則、2 月 1 日、8 月 1 日に開催する。なお、当該日が土日祭日に当たる場合は、適宜直近の日程を設定する。
- ②長崎サミット開催時に、次回の日程を確定させる。
- ③やむを得ない事情により日程を変更する場合は、都度協議する。

2. 第 9 回長崎サミットの日程変更について

(変更理由)

8 月 1 日（金）に開催される五島市及び新上五島町の合併 10 周年記念行事に知事が出席する予定となったため、直近でサミットメンバー全員が出席可能な 7 月 3 0 日（水）へ日程を変更するもの。

変更前 平成 26 年 8 月 1 日(金) 9:30～12:10
ホテルニュー長崎 (鳳凰閣の間)



変更後 平成 26 年 7 月 30 日(水) 9:30～12:10
ホテルニュー長崎 (鳳凰閣の間)

長崎都市経営戦略推進会議の運営等の見直し(たたき台)

1. 課題整理・・・資料 2-3

- ・第8回長崎サミット終了時点での課題の整理と第3ステージに向けた取組みの強化を図るため、課題の整理を実施。
- ・サミット後に都度見直しを行い、必要な対策等を検討・実施する。

2. 推進体制・・・資料 2-2

(1) ワーキングチームの見直し

- ・基幹製造業分野では、客船建造の支援に一定の進捗をみたことから、地場企業の振興を見据えたワーキング活動を進める。
- ・更に基幹製造業に関しても、環境変化等の情報収集に努め、ワーキング活動等に反映させる。
- ・上記を進めるワーキングとして、基幹製造業分野の2ワーキングチームを再構成し、「基幹製造業及び地場企業振興対策ワーキングチーム」を組成し、併せてメンバーも見直す。

(2) ワーキングチームメンバーの見直し

- ・基幹製造業分野を初めとして、「マーケット対策」「おもてなしの飛躍的向上」「産学官連携」のメンバーの見直しを行う。
- ・担当推進委員及び座長で見直しを行い、推進会議に報告する。

(3) 各分野毎の情報交換

- ・各分野毎に、推進委員を中心に、必要に応じて関係者等との情報交換を行い、運営の参考とする。

3. 運営

- (1) 長崎都市経営戦略推進会議を定例開催し、プロジェクトの進捗状況の確認、対策の検討等を行い、サミットへ反映させていく。

(2) コアミーティングの活発化

- ・さまざまな課題について、時々に対応方針を協議
- ・座長の適宜出席により、ワーキングで取り組む課題の進捗状況、対策等を協議
- ・推進会議で取り組む課題等の進捗状況、対策等を協議

ワーキングチームの見直し(たたき台)

資料2-2

ワーキングチーム
基幹製造業の振興対策
基幹製造業に係わる地場企業への振興対策
マーケット対策
おもてなしの飛躍的向上
観光資源の再構築
コンベンション・クルーズの対策強化
留学生受入体制の充実(留学生3千人委員会)
産学官連携
長崎かんぼこ王国推進委員会

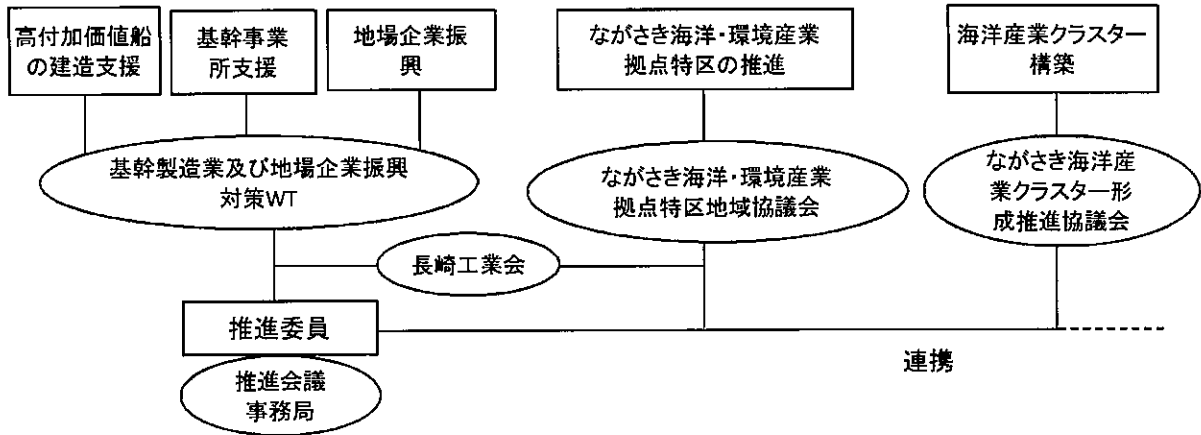


ワーキングチーム	摘 要
基幹製造業及び地場企業振興対策	・ワーキングの再構成 ・メンバー見直し
同左	メンバー見直し
同左	メンバー見直し
同左	変更なし
同左	変更なし
同左	変更なし
同左	・NRC(長崎新生産学官金連携コンソーシアム)等との連携を模索 ・メンバー見直し
同左	変更なし

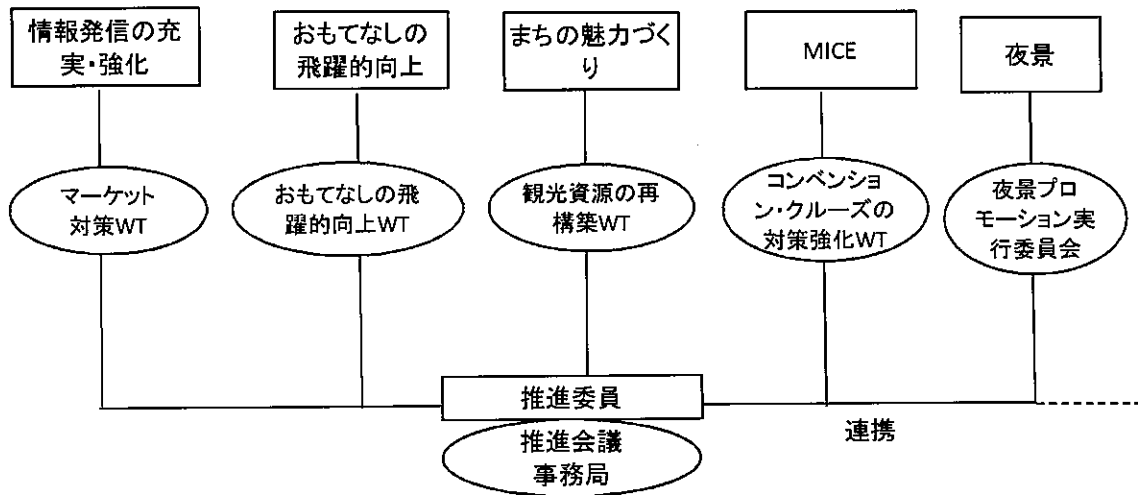
分野毎の推進体制(たたき台)

資料2-2

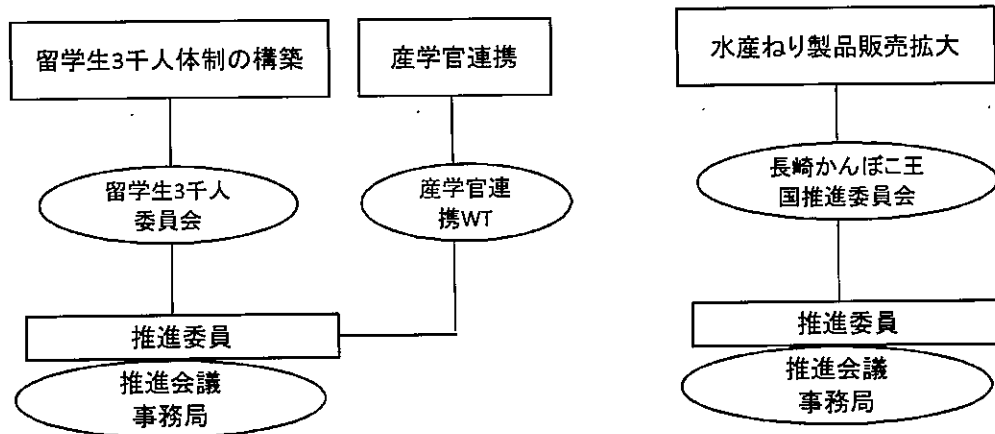
I 基幹製造業分野



II 観光分野



III 大学分野、水産分野



分野	テーマ(課題)	推進方針	具体策	実施主体	推進実績				
全体的な項目	県民所得の向上	推進体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> 県民所得向上対策促進会議(仮称)の立ち上げ ビジネス交流会、商談会を中心とした販路拡大、事業拡大等への支援強化 	県	<ul style="list-style-type: none"> H26.4.30 長崎県総合計画推進会議実務者会議において、当該会議への「県民所得向上対策促進会議」としての役割付加について確認、取組開始。 				
				支援策の実施	<ul style="list-style-type: none"> 県民所得向上対策促進会議(仮称)への参画 	推進会議			
				推進会議の運営体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> 推進会議委員の見直し 推進会議の定例開催(2ヶ月に1回) 	推進会議			
				ワーキングチームの運営体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ワーキングチームの編成見直し ワーキングチームのテーマ毎に沿った関係者の参加 	推進会議			
				コアミーティングの運営強化	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じ、ワーキングチーム座長・副座長の参加による活動内容の協議、進捗フォロー 	推進会議			
				賢人アドバイザー組織づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> メンバーの選定、運営方針の策定 第1回会合の実施及び出された意見のサミット提議への反映 	推進会議			
				対外広報の強化	<ul style="list-style-type: none"> 広報活動の検討 分かり易いHPへの改修 	推進会議			
				資金支援協議会の拡充	<ul style="list-style-type: none"> 制度の見直し 会員の増強、 	推進会議			
				地域および圏の広がり	<ul style="list-style-type: none"> 他地域との連携 若手団体等の参画の拡充 	推進会議			
				世界遺産登録の推進	推進会議として状況をフォローしながら、行政と国への要望活動や広報等についても取り組んでいく。	<ul style="list-style-type: none"> 産業革命遺産の登録推進 産業革命遺産の受入体制整備 イコモス調査の準備 	<ul style="list-style-type: none"> 佐世保フォーラムとの情報交換会の実施、連携強化 若手団体等との活動連携の協議実施 	県・市・推進会議	<ul style="list-style-type: none"> 国への要望活動を実施 長崎造船所、県、市で「三者会議」を立ち上げ、情報や課題を共有 国の指導を受けながら、「三者会議」で対応を協議・検討
							<ul style="list-style-type: none"> 産業革命遺産の広報 	県・市・推進会議	<ul style="list-style-type: none"> 広報として各地での写真パネル展開催、主要交通拠点での広告掲出、関係先へのポスター等の配布、会議所ニュース等での特集
							<ul style="list-style-type: none"> 帆船まつりでの2つの世界遺産候補のPRブース展開 	JC	<ul style="list-style-type: none"> 実施済み。啓発のための風船も配布
							<ul style="list-style-type: none"> 重工の資産の取り扱い協議 	(行政)重工	<ul style="list-style-type: none"> 「三者会議」を立ち上げ、情報や課題を共有
							<ul style="list-style-type: none"> 教会群の推薦獲得への活動 	県・市・推進会議	<ul style="list-style-type: none"> 国への要望活動を実施
							<ul style="list-style-type: none"> ローマ教皇の来崎 	県・市	<ul style="list-style-type: none"> 本県のキリスト教関係者のバチカン訪問時に知事の親書を預け、「教会群」の世界遺産登録推進の応援に加え、本県の訪問をお願いした。 大司教区から情報収集している中では、具体的な動きはない。
	<ul style="list-style-type: none"> 教会群の周辺・受入体制整備 	県・市	<ul style="list-style-type: none"> 出津教会堂及び大野教会堂の修景・景観整備を実施 長崎の教会群インフォメーションセンターの設置(出島ワーフ) 						

課題の整理(たき台)

H26.5.14

分野	テーマ(課題)	推進方針	具体策	実施主体	推進実績		
基幹製造業	新幹線整備促進・まちづくりの推進	まちなか全体のエリアマネジメントの推進 関西経済団体・観光関連団体等との連携推進	・ 各種協議会等への参画、提言 ・ 県内 2 次交通の整備	推進会議	・ 出津教会堂へ教会守を配置 ・ 世界遺産センター(仮称)のあるべき姿について検討。それを踏まえ、今後、施設態様・規模や設置場所などを検討。		
			・ 関西経済団体・観光関連団体との相互連携推進(8 提議) ・ 訪問団等の組成、訪問 ・ 九州の横軸観光の連携強化(8 提議)	県、市、会議所等	・ 県庁跡地懇話会にて「インバウンド対策の充実にかかる提言」を説明		
			・ ビジネス交流会・商談会の拡充	市、会議所等			
			販路拡大の支援	県、市、会議所等			
			総合的な地域中小企業へのワンストップサービス拡充	市、会議所等			
			国際交流の拡充	大学、経済界			
			提携大学の拡充	大学			
			MICE 事業化のサポート	推進会議	・ 誘致推進協議会準備会を開催し、設立に向けた準備を開始。 ・ MICE 事業説明会を開催。 ・ ながさき MICE フォーラムを開催予定		
			当地進出企業と地場企業との連携の可能性調査・研究				
			高付加価値船建造体制への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物件の情報収集、斡旋の実施 ・ 関係者との協議 ・ ポートセールス、集荷活動の実施 ・ 県・市による支援策の実施 ・ 県・市による支援策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県、市、企業等 市 県・市 県・市 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿舍、倉庫で 6 物件活用手続き中 ・ 課題整理のため、市・重工で協議 ・ H26/2、ポートセールス実施 ・ H25 年度施策で実施 	
海洋エネルギー産業の拠点形成への取り組み	イノベーション環境の改善	・ 地域協議会への参画	推進会議	・ 里議長及び事務局で対応中			
		・ 長崎地域ワーキングとの連携	推進会議	・ 長崎市及び事務局で情報交換			
		・ 実証フィールドの誘致	県	・ H26/2、提案書提出。経済団体も同行し、要請活動を実施。			
		・ 有識者会議への参画	推進会議	・ 里議長及び事務局で対応中			
		・ 海洋産業クラスター形成協議会の設立	民間企業	・ H26.6 の NPO 法人設立総会へ向け準備中 (長崎海洋産業クラスター形成推進協議会)			
		・ 大学の研究拠点化(学際的なプロジェクト等)	大学				

分野	テーマ(課題)	推進方針	具体策	実施主体	推進実績	
観光	おもてなしの充実・推進	<p>推進会議がワーキングの活動の拡大支援を行いながら、民間として主体的に観光客受け入れ態勢強化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 戦略産業雇用創造プロジェクトの活用 要望活動の検討 	<p>県・市</p> <p>県</p>	<ul style="list-style-type: none"> クラスター形成を目指したコーディネーターを配置 当協議会会員の勧誘 一般社団法人海洋エネルギー資源利用推進機構による提案を支援 	
			<ul style="list-style-type: none"> 海洋エネルギーをテーマとしたコンベンションの検討 基幹製造業合同説明会への参加 	<p>推進会議</p> <p>推進委員事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> H26/4、SEA-JAPAN を視察 H26/3、表敬訪問を実施。説明会への参加を要請。 	
			<ul style="list-style-type: none"> 新たな課題等の検討 有識者会議への参画 地場企業の体制の整備 県・市との連携 	<p>推進会議</p> <p>民間企業事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> 第1回、第2回有識者会議開催 協議会設立、事務局設置 県・市との情報交換を実施中。 	
			<p>総おもてなし運動の実践と推進</p>	<p>県・市・推進会議</p>	<ul style="list-style-type: none"> アダプトプログラム参加、おそうじさるく実施 ながさき・おもてなし協力隊参加 市観光ネットワーク推進協議会参画 4か国語観光案内板、指差しマップ等整備協力 会議所等で接客サービス講座実施 	
			<p>国体の受け入れ態勢強化</p>	<p>県・市・推進会議</p>	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアの募集、研修 花いっぱい運動、クリーニングアップ活動の実施 歓迎のぼり、子どもたちによる手作り応援のぼりの掲出 案内所(駅等)、休憩所(会場)の設置 地元特産品を使ったふるまい料理の提供、ドリンクサービス 企業・団体等の自発的なおもてなしの推進(おもてなし活動宣言) 	
			<p>民間主導でのWi-Fiポイント充実</p>	<p>推進会議・「おもてなしWTJ」</p>		
			<p>観光従事者の顧客満足向上</p>	<p>市・推進会議</p>		
			<p>情報発信の強化・充実</p>	<p>推進会議がワーキングの提言に基づいて積極的に課題解決を図る。</p>	<p>推進会議・「マーケット対策WTJ」</p> <p>県観光連盟他行政・推進会議・「マーケット対策WTJ」</p>	
			<p>観光10年プロジェクトの検証と推進</p>	<p>経済同友会と連携し戦略を立案する。</p>	<p>同友会・推進会議</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「長崎の和」の商品化についてのワークショップ等開催
			<p>まちの魅力づくり</p>	<p>行政の施策と連携しながら、まちの魅力の顕在化、商品化を図る</p>	<p>まちの魅力づくりの具体的な推進</p>	<p>市・コンベンション協会・「観光資源の再構築WTJ」</p>

分野	テーマ(課題)	推進方針	具体策	実施主体	推進実績
	夜景観光の推進と対外発信強化	外部実行組織と目標を共有し、推進会議が積極的に活動支援を行う。	「長崎夜曲」を活用した情報発信推進 夜景ウイーク(光のおもてなし)の実施	商工会議所 青年部(プロモーション実行委員会) 依頼作業ー夜景プロモーション実行委員会・会議所	・総文祭の折に「光のおもてなし」実施 ・「長崎夜曲」制作、プロモーション
	水産練り製品販売拡大	推進委員会の支援を行う	100万枚葉書キャンペーン実施 国体時のイルミネーション展開 ながさきクリスマスイルミネーション充実 造船所側の海岸沿いの明かり対策 夜景の在り方検討会による夜景整備	依頼作業ー夜景プロモーション実行委員会・同友会・会議所 県(市) 市 経営者協会 県・市	・長崎おでん、ちやボリタン販売
	水産練り製品以外の振興	地域の課題として認識する。	「出島揚げ」の販売促進 練り製品以外での振興戦略検討 若手への支援モデルの他製品への適用	かんばこ王国 市 市	
大学	留学生 3千人体制の推進支援	留学生支援センターの運営体制・財政基盤確立の支援 留学生との交流拡充 提携大学の拡充	・H26年8月までに27年度以降の内容(業務、財政等)を策定	コソージム	・実務者(センター、長崎大学、県、市、経済研究所)で具体案検討中
			・長崎留学生同窓会の設立	県	
			・インターンシップ受入企業等の拡充	大学	・毎年7～8月に実施中。
			・留学生支援センターと県内大学間連携共同教育推進事業との連携 ・邦人学生と留学生の連携強化	大学 大学 大学	
	国際的研究拠点化への新規プロジェクトの情報収集				

地域(民間を中心とした)の MICE 事業化サポートの推進方針

平成 26 年 5 月 14 日
長崎都市経営戦略推進会議

1. 基本認識

- 5 年後の開業を見据え、開業後の事業を軌道に乗せるためのサポート体制の目途をつける。
- 民間(地元経済界)のとりまとめ及び施設運営者 (PCO) との窓口を長崎国際観光コンベンション協会へ一本化し、民間が連携して事業化へ向けた側面的なサポートを行う。
- 本推進方針は、施設運営者が決定後、施設運営者の方針に沿って調整、修正すると同時に具体化を進める。
- 市議会等関係者の合意のもとに事業を企画・推進する。

2. 推進方針

<広報活動>	<コンベンションビューロー機能の強化>	<誘致活動の推進>	<サポートに必要な資金の確保>
○平成 26 年度中に、長崎国際観光コンベンション協会を中心に、地域の理解に向けた活動を関係者と協働して推進する。 ・ 市民(コンベンション協会の主導) ・ 民間経済界(コンベンション協会の主導) ・ 議会、行政等(長崎市の主導) 等 ○その後、対外広報の活動を実施する。 ・ 国内向け ・ 国外向け	○長崎国際観光コンベンション協会の体制充実(平成 27 年度～) ・ MICE ビューロー(仮称)の設置 調査・営業部門 市場調査、MICE 営業 受入・管理部門 受入環境、事業者連携 [ビジネスコーディネーター] ・ 目標とする学会等のリストアップ	○平成 26 年度中に、設置予定の(仮称)長崎 MICE 推進協議会で下記の誘致体制の構築を進める。 ①誘致部会 ②受入体制整備部会 (メンバー) 長崎商工会議所、長崎経済同友会 長崎県経営者協会、長崎青年会議所 長崎大学、長崎県、長崎市 長崎国際観光コンベンション協会	○基金 2 億円を目標(5 年間で活用) ○募集方法 (例) ・ 6 ヶ月～1 年 ・ 分割 ○用途 ・ 国内外への P R 活動 P R 看板・誌面広告 等 ・ 新規 M I C E 誘致のための方策・支援 学会等のキーマン招聘 等 ・ 長崎ならではの M I C E 事業の充実 おもてなしの充実 交通・宿泊事業者への啓発事業 等

	H26/4	H26/10	H27/4	H27/10	H28/4
広報活動 コンベンションビューロー機能の強化 誘致活動の推進 長崎ならではの MICE 事業 資金の確保	H26/4 地域の理解に向けた活動	H26/10 誘致体制の構築	H27/4 体制の充実	H27/10 国内・国外への広報活動	H28/4 長崎ならではの MICE 事業 資金の確保

[経緯]

- コンベンション施設の整備は永年の課題
- 平成23年8月1日の第3回長崎サミットで提議され、長崎市を中心に具体化に向け検討

【基本方針】

MICE事業は、地域の経済活性化に有効であり、この機会を逃すことなく実現を目指すべきである。

[現状]

- 100年に1度のターニングポイント
- ① 新幹線開業に伴う長崎市中心部の再整備推進
- ② 建設候補地（長崎駅西側）の取得についても前進
- ③ 施設運営者の出現

○ MICEの重要性が認知

① MICEの市場が拡大

- ・ 一定の要件確保により参入可能
- ・ 九州内でも5ヶ所の新設・拡張計画（福岡市、久留米市、熊本県、熊本市、鹿児島市）

② 高い経済効果：2.5倍

消費額	70千円
コンベンション参加者(宿泊者)	28千円
一般観光宿泊者	

重点戦略

1. 他地域との差別化と競争力確保
2. 産学官一体の取組み
3. 事業として持続性を確保

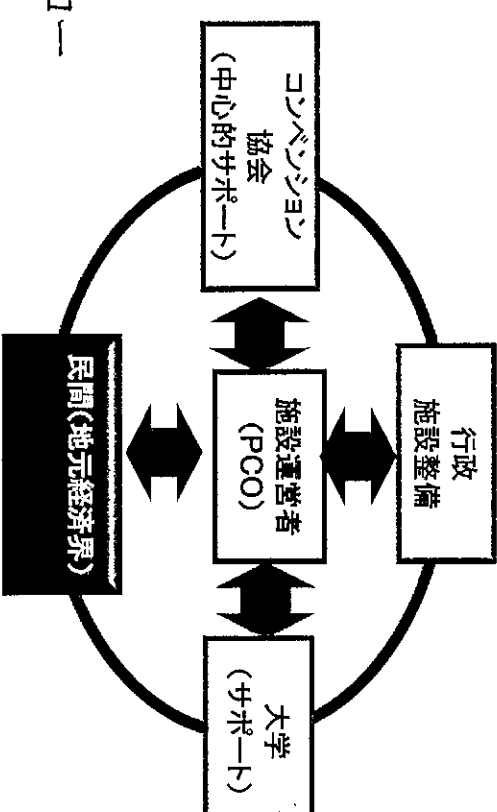
MICE事業の推進方針

◆ 参考 ◆

○ MICEの定義

MICEとは、各種会議や展示会、イベントなどの総称。
(=Meeting, Incentive, Convention, Exhibition/Event)

○ 事業推進の仕組み



○ 現時点での施設内容

施設の規模等

- ①メインホール：約3,000㎡
- ②展示ホール：約3,000㎡
(多様なイベント等が開催可能)
- ③会議室：約4,500㎡

- ・ 駐車場(300台程度)、
- ・ ホテル(300室程度)
- ・ 経済活性化施設
(企業誘致のためのオフィス等のスペースを設置予定)

○ 会議機能・展示機能を兼ね備えた大規模施設

- 全国規模の大規模学会等の約9割が開催可能
 - 中小規模であれば複数学会等の同時開催が可能
 - 西日本では神戸・福岡に続く機能を備える全国有数の施設
- 交通結節点に立地
- ホテルを併設

施設のアップグレード

- 国内外へのPR活動
 - 新規MICE誘致のための方策・支援
 - 長崎ならではのMICE事業の充実
- JR長崎駅と直結。新幹線駅に隣接し、かつホテルを併設する九州唯一のMICE施設。
⇒MICE参加者へ最高の利便性とおもてなしを提供

活用内容(案)

- 国内外へのPR活動
- 新規MICE誘致のための方策・支援
- 長崎ならではのMICE事業の充実

サポート、体制の整備

○ MICE事業への民間による資金面の

1 団体1コンベンション活動の推進

— 早期に着手、事業見通しの確保 —

○ 誘致活動の推進

としての機能強化

○ 民間を主体にコンベンションビューロー

の事業化サポート

3. 地域(民間を中心とした)

＜民営＞

とした事業化

2. 事業主体者(施設運営者)を中心

＜公設＞

1. 施設整備などのハード面の整備